

公益社団法人日本技術士会 CPD行事 報告書

開始日時	2023 年 10 月 21 日 (土)	14 時 00 分
終了日時	2023 年 10 月 21 日 (土)	16 時 30 分
名称	第 126 回 CPD 専門知識向上講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会千葉県支部	
開催場所	ZOOM によるリモート講演	
行事内容	主催者挨拶：熊田支部長 講演：「ChatGPT など生成 AI の技術文書・技術発想への利用（有用性と倫理上の問題を含めて）」 講師：小波 盛佳（こなみ もりよし）氏 （鹿児島大学非常勤講師、公益社団法人日本創造学会研究倫理委員）	
参加人数	76 名（講師 1 名含む）	

講演概要

情報技術における大変革である ChatGPT の登場と、その後に新しい Bing (New Bing) および Bard と生成 AI が相次いで公開された。今回は、ChatGPT の利用を主体として、生成 AI を活用した技術文書・技術発想への利用について、有用性と倫理上の問題を含めてご教示頂いた。

ChatGPT 等の生成 AI の利活用は、その利用形態によっては作業の効率化や思わぬアイデアの創造に繋がるものであるが、文書作成等では冗長で無駄な内容の生成文書が多いため、内容を整理するための確認作業が増加することもある。質問の仕方次第では広範で多様な返答の情報提供や、提案返答事項に対する想定問答の生成回答は大いに参考となる。しかし、専門性が高いものは誤情報が増える可能性があること、回答の内容が偏向しやすいこと、中立性が保証されないなど、まだまだ生成 AI の回答能力には限界があり、その使い方は使う人に委ねられており、長所短所をよくわきまえて使用しなければならない。

特に、新しい情報や専門的な知識、複雑な意思決定においては、人間自身の分析力と判断力が不可欠である。生成 AI の利活用はあくまで Copilot (副操縦士) であり、使用する個々人に生成回答の判断と修正、使用の場合の義務と責任が生じることを、これまでの実践を踏まえて講演説明をして頂いた。



講師